



Akasaka, Tokyo



## 東京花街と赤坂芸者

現在、東京には、

新橋、赤坂、芳町、神楽坂、浅草、向島に花街があり、東京六花街と呼ばれています。置屋があり、料亭があり、芸者衆がいる花街では、

いまでも座敷に芸者を呼ぶ花柳界の文化が

受け継がれています。

赤坂の芸者衆には

明るく華やかな印象があり、花柳界では「牡丹の花」と称されています。

## 芸を磨く「赤坂をどり」

芸妓の芸の発表の場として、一九四九年に三越劇場で

初めて開催された「赤坂をどり」は、赤坂の芸者衆にとって磨き上げた芸事を披露する晴れ舞台です。歌舞伎座などで回を重ね、

近年はTBS赤坂ACTシアターで開催され、

二〇一八年十二月には、第五十六回を迎えました。

「芸妓の踊り、唄、演奏を通して、赤坂らしい明るく華やいだ気分を

楽しんでいただけたら」

という舞台は、多くの方々に花柳界の華やかな雰囲気を知っていただく機会にもなっています。

## 東京の

## 花柳界で

## ひととき

## 華やぐ

# 赤坂芸者

## 赤坂芸者「育子姐さん」

一番元氣な赤坂芸者といえば、育子さんです。

芸者で初めて

「旭日双光章 芸術文化功労」

(二〇一六年四月)を

受賞したことも、注目を集めました。

赤坂の地で芸者としてデビューして五十五年、現在も第一線で活躍しており、

赤坂芸者を知る多くの方が、

尊敬と親しみを込めて

「育子姐さん」と呼んでいます。

赤坂に息づく花街の香りは、

いまでも育子姐さんと

赤坂芸者衆とともにあるのです。

## 料亭文化を楽しむ

赤坂の花街と料亭の発祥は江戸時代。

赤坂の近隣に

政府や軍の機関があったことから

時代とともに発展し、

その文化は、時の流れとともに

形を変えて継承されてきました。

街とともにある文化を絶やすことなく、次の時代に伝えていくことも、

赤坂芸者と料亭がなすべきことの

ひとつかもしれません。

より多くの方々に

料亭文化に触れていただき、

花柳界の雰囲気を

楽しんでいただければ幸いです。



辰美



Tsumi

小巻



Komaki

ふみ香



Fumika

佐和子



Sawako

育子



Ikuko

# 地

さとみ



Satomi

ゆり佳



Yurika

# 方

## 赤坂芸者衆

## 二十二名

(令和元年現在)

かな子



Kanao

香帆留



Kaoru

# 立

理花子



Rikako

よし子



Yoshiko

# 方

真由



Mayu

絃加



Himeka

桃太郎



Momotarou

赤坂芸者とお座敷の  
お問い合わせは、  
赤坂浅田までお願いいたします。  
電話〇三三五八五二六六〇六

いち晴



Ichiharu

明日香



Asuka

さつき



Satsuki

真理子



Mariko

千こ



Senko

まめ夏



Mameka

こいく



Koiku

真希



Maki